



桜の如く

■村松桜中学校 学校だより ■

令和7年12月19日発行 第9号

先生方も勉強しています。

生徒の学力向上に「授業力向上」は欠かせません。最近実践した授業研究を紹介します。

11月5日（水）1年3組英語科授業「現在進行形」（授業者：T・K）

郡内の中学校英語科教員が集まる研修会で実施しました。

大学で日本の文化を学んでいる外国人に村松桜中の様子や給食の様子を伝えるという設定で授業を行いました。

書くことに苦手意識をもちながらも、懸命にトライする様子が見られました。



11月12日（水）1年2、3組保健体育科授業「器械運動（倒立前転）」（授業者：T・S）



近隣地域の初任者が見守る中、初任者研修として実施しました。

倒立前転に臨む1時間目の授業でした。技を確実に身に付けられるように「蛙のポーズ」「三点倒立」など4つの補助運動を実施しました。人によって習得の早さは異なるものの、繰り返すことで、確実に上達する様子が見られました。

11月19日（水）2年1組英語科授業「比較級・最上級」（授業者：T・Y）

授業力向上を図り、校外から講師を招いて実践しました。

相手を納得させたり、驚かせたりする工夫をしながら、自分で作成したランキングを紹介する活動を通して、聞き手を意識しながら英語を話す力を身に付けることをねらいました。互いに興味深いランキングを披露しながら、得意げに話す姿が見られました。

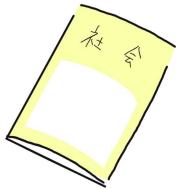


12月3日（水）3年3組社会科授業「地方自治」（授業者：K・D）



近隣の中堅教員を対象とした研修として実施しました。

地方自治の学習を終え、市の特色と課題を踏まえた上で、五泉市をよりよくするために自分にできることは何かを考えました。後半は班ごとにそれぞれの感じる特色や課題を共有し、対策や自分たちにできることを真剣に話し合う姿が見られました。

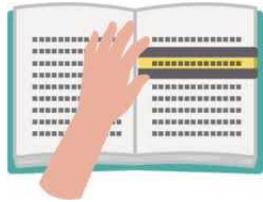


校長も授業をしてみた。

全校朝会や行事の前段で、校長として生徒に伝えたいこと、考えて欲しいことを伝えるようにしています。同時に、一緒に考えたいときに、私も授業をします。いくつかをご紹介します。

校長が授業をしてみた①「便利グッズを体験しよう」(およそ半数／今後全学級で実施予定)

目の悪い人が眼鏡をかけるように、苦手を克服するための便利グッズが多数市販されています。授業では自作の便利グッズを紹介し、体験を通してその便利さを実感し、学習への意欲を高めてもらおうという思いから実践しました。



「リーディング・ルーラー」定規を当てると誰でも読みやすい。それに特化した定規型のグッズ。「ざらざら下敷き」下敷きにやすりがけをしただけで、文字が書きやすくなる人もいる。「三角形の鉛筆」特に、握力がない人にとって持ちやすく配慮した鉛筆（市販品多数）

生徒の感想「困っていることが道具一つで解消できるのは凄く便利だと思った。」

「自分に凄く良いものもあれば、あまり変わらないものもあった。感覚は人それぞれだ。」

※ 右上のイラストは、横浜市HP「読書支援機器の紹介」より、許可を得て使用しています。このサイトもぜひ、ご覧ください。

※ P T A会長も体験済みです。

校長が授業をしてみた②「ご食を通して、食を考える」(2年生、3年生)

「孤食」「個食」「固食」など15種類の漢字で示す「こ」食について、漢字をヒントにどんな問題点があるかを考える活動を通して、現代の子どもたちが直面する食環境の問題点を確認し、注意を促しました。



「孤 食」：(いつもいつも) 一人だけで食べる。

「個 食」：(いつもいつも) 個々が違うものを食べる。

「固 食」：(いつもいつも) 固定されたメニューだけを食べる。

生徒の感想「意味を知ると自分もしていたなと思うものもあったので気をつけたい。」

「食事をいただくということはみんなの働きや犠牲によって成り立っている。」



※ 描絵は創作部に依頼しました。

- ・黒板を移すのに、他の人よりも時間が掛かる。
- ・文章を読んでいると、文字を読み飛ばしてしまう。
- ・文章を読むのに、他の人よりも時間がかかる。

これらに該当する人はいないでしょうか。ちょっととした目のトレーニングで改善されるかもしれません。教務室脇に「間違い探し」「迷路」を掲示して、毎週張り替えていきます。楽しみながらできるので負担はありません。是非、チャレンジしてください。

もっと本格的な練習方法もあるので、興味のある人は声を掛けてください。

※ 校長と話してみませんか。まずは、村松桜中学校（0250-58-6530）にお電話ください。